

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	難病患者支援事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	健康 部	保健所 保健医療 課	評価責任者(課長名)	藤川

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	難病の患者に対する医療等に関する法律(難病法)			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成16年度、難病患者等見舞金制度廃止に伴って難病対策の施策全体の見直しを行い、事業の集中化を図るとともに拠点を整備し、事業を開始。23年度までは「堺市難病支援ネットワーク協議会」に委託。24年度以降は難病患者支援センターを設置し、「大阪府特定疾患研究会」に委託して運営していた。平成27年1月、難病法が施行され、新たな医療費助成制度の確立とともに、療養環境の整備が図られることになり、本市においても、保健師による難病患者の個別療養支援、及び難病患者支援センターにおける相談支援を実施。平成30年度からは、大阪府からの権限移譲に伴い、難病患者支援センター事業を「療養生活環境整備事業」に含めて再編し、本事業では引き続き難病患者の個別療養支援と保健師等専門職への教育・育成を重点的に行う。(「療養生活環境整備事業」のシート参照)				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	難病患者及び患者家族					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	難病患者とその家族が生活の質を向上し地域で安心して暮らすことを目的に、療養生活における不安や悩みを解消し自立を支援する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<input type="checkbox"/> 個別療養支援 指定難病331疾病(平成30年4月現在)のうち、重症化する神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施する。 <input type="checkbox"/> 難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク構築を図り、一層の連携を推進する。 <input type="checkbox"/> 研修会等 療養支援に携わる保健師等専門職の育成を目的に開催する。 <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ()					
10	直接実施以外の主な支出先							

Ⅲ. 投入量

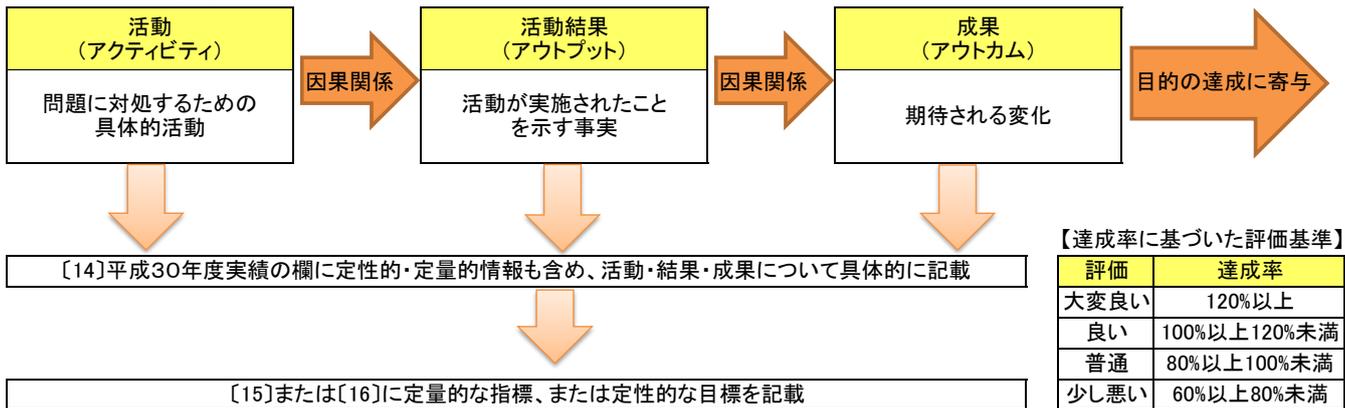
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	事業費(a)	千円	33,743	32,710	10,915	10,094	
	主な事業費内訳	難病患者活動拠点事業	千円	22,327	22,327	0	0
		専門職員報酬等	千円			7,001	6,864
		難病研修会・ALS交流会等関係事業	千円			1,316	470
	財源内訳	国・府支出金	千円	3,951	3,662	3,500	1,412
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他(寄附金)	千円			94	
	一般財源	千円	29,792	28,954	7,415	8,682	
	12	人件費(b)	千円	25,780	26,350	18,970	19,210
	13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	59,523	59,060	29,885	29,304

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	難病患者支援事業	シート番号	11-218
-------	----------	-------	--------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績							
活動実績と成果	14	<ul style="list-style-type: none"> ○個別療養支援 指定難病331疾病(平成30年4月現在)のうち、重症化する神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施。1330件の面接・訪問を行った。 ○難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者を集め、情報・意見交換を行った(2月)。 ○研修会等 <ul style="list-style-type: none"> ・新任保健師を対象に保健師現任研修「難病基礎コース」を実施(1回) ・中堅保健師を対象に保健師現任研修「難病中堅コース」を実施(1回) ・希望する保健師を対象に人工呼吸器等の研修会を実施(2回) 					
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	保健師を対象とした研修の実施回数	回	目標値	2	2	2	3
		実績値	2	2	4		
		達成率	100%	100%	200%		
		評価	良い	良い	大変良い		
	算出方法・設定根拠など						
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	個別療養支援件数(面接・訪問)	件	目標値	-	-	-	-
		実績値	1,262	1,173	1,330		
		達成率	-	-	-		
		評価	-	-	-		
	算出方法・設定根拠など						
	罹患している疾病や状況・状態によって面接時間や必要回数等が異なるため、目標値を設定することになじまない。						

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	平成30年度は、従来からの現任研修に加え、「人工呼吸器の停電・災害時対応」等をテーマに研修を実施。研修参加者の報告書によると満足度は高いことがうかがえるが、引き続きテーマ設定などを見直しながら療養生活支援の充実に図っていく。
----	--	--

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。